

トピックス…①

計画生産、平成22年度は3.3%減

23年度計画生産目標数量は749万ト

本会は5月31日に指定団体・全国連実務責任者会議を開き、平成22年度計画生産実績数量と平成23年度の指定団体別計画生産目標数量を報告した。

● 22年度は目標未達もペナルティなし

日本酪農乳業協会は当初、22年度の生乳需給は緩和して乳製品在庫が大幅に増加すると予測。しかし、生乳需給を巡る中期的な環境は流動的であり、短期的な需給見通しで減産型計画生産を実施した場合、中期的には予想超えた生乳の過剰・不足が生じるおそれがあった。このため、22年度の計画生産は3年程度の中期的な需給動向などを見据えた弾力的な対策を実施すると同時に、22年度末の乳製品在庫量は21年度末に比べて増加させない減産型計画生産としてスタートした。22年度は宮崎県での口蹄疫発生、夏場の記録的な猛暑に加え、今年3月には東日本大震災が発生し、年間を通じて生乳生産は低調だった。この結果、22年度の計画生産実績数量（受託乳量）は733万3,990トで前年実

績比3.3%減、計画生産目標対比2.1%減となった。計画生産目標を大きく下回ったが、未達ペナルティを休止しているため、ペナルティの対象となる指定団体はなかった（表1参照）。

一方、本会は2月9日の理事会で23年度の計画生産対策を決め、各指定団体に販売基準数量の配分と、特別調整乳数量の一次配分を行った。その後、特別調整乳数量の増・減を希望する指定団体はなかったため、3月18日に供給目標数量（販売基準数量+特別調整乳数量）を正式に配分。選択的拡大数量は4月27日に希望する指定団体に配分した。その後、期中のアウトイン修正を行った結果、計画生産目標数量は749万3,618トとなった（表2参照）。

(表1) 指定団体別の平成22年度生乳計画生産実績数量

(ト、%)

	計画生産目標数量		受託乳量実績	前年実績比	供給目標数量実績数量	供給目標数量対比
		供給目標数量				
北海道	3,829,894	3,258,668	3,787,734	99.0	3,226,290	99.0
東北	616,260	607,198	590,424	93.3	581,363	95.7
関東	1,203,747	1,192,692	1,168,082	94.2	1,156,929	97.0
北陸	112,523	112,496	105,912	93.1	105,886	94.1
東海	424,475	419,275	410,305	94.9	405,245	96.7
近畿	201,702	201,702	193,277	94.4	193,277	95.8
中国	298,790	298,405	295,297	96.1	294,921	98.8
四国	142,001	141,901	139,586	96.4	139,488	98.3
九州	661,766	660,740	643,374	94.3	642,349	97.2
都府県	3,661,264	3,634,410	3,546,256	94.3	3,519,457	96.8
全国	7,491,158	6,893,078	7,333,990	96.7	6,745,747	97.9

(表2) 指定団体別の23年度計画生産目標数量(アウトイン修正後)・5月16日現在

(ト、%)

	計画生産目標数量					
	前年実績比	供給目標数量			選択的拡大生産数量	
		販売基準数量	特別調整乳数量			
北海道	102.1	3,318,869	3,268,273	50,596	547,000	
東北	103.5	605,969	599,580	6,389	5,000	
関東	102.0	1,190,446	1,178,719	11,727	950	
北陸	104.3	110,487	109,470	1,017	28	
東海	102.0	416,459	412,505	3,954	2,100	
近畿	102.6	198,347	196,563	1,784	0	
中国	100.9	296,140	293,283	2,857	1,885	
四国	100.6	140,243	138,896	1,347	113	
九州	102.5	658,282	651,525	6,757	1,300	
都府県	102.3	3,616,373	3,580,541	35,832	11,376	
全国	102.2	6,935,242	6,848,814	86,428	558,376	